

## 地域内から賑わいを創る‘地域活性化事例’ 講演テーマ切り口

「市民から自発的な動きができるのを期待してやっているんですが、事業が終わるとまた前と同じ」  
「ここには、やる気のある若い人がいないんです」「今年も予算削られました」という行政職員の声をよく耳にします。

でも、探せば「自分が住む地域をなんとかしたい！」と思っている人たちがいます。

ガラパゴスと呼ばれる(いい意味です!)山形県庄内地方の地域活性化の取り組みと、そこから見えてきたヒントをお伝えします。

■今、山形県庄内地方では、こんな風を感じる人が増えています。



### 1、普通の市民がやる気になる仕掛け

- ・行政の役割(担当者はずべきこと)
- ・Facebookの徹底活用×リアルの関係をつくる対話の場活用
- ・小グループ化
- ・「しがらみ」を活用
- ・女性とおいしいもの
- ・研修会・講師招聘企画で、関心ある人を集め取り組みを進める

### 2、地方自治体、NPOとの連携

黒子(コーディネーター)に徹し、関係者の利害を調整しています。

### 3、適用実践事例:

食文化: 鶴岡食文化女性レポーター

婚活: 庄内恋愛教習所、

エネルギー: 「エネルギーシフト山形」勉強会で人をつなぐ、動かす  
「最上再生可能エネルギー協議会」

<講師> 加藤文晴、井東敬子 プロフィール・実績はWEBでご確認ください。

### <料金>

基本 / 90分 50,000円 (NPO 等非営利組織、個人 40,000円)

※交通費、宿泊費は、別途申し受けます。